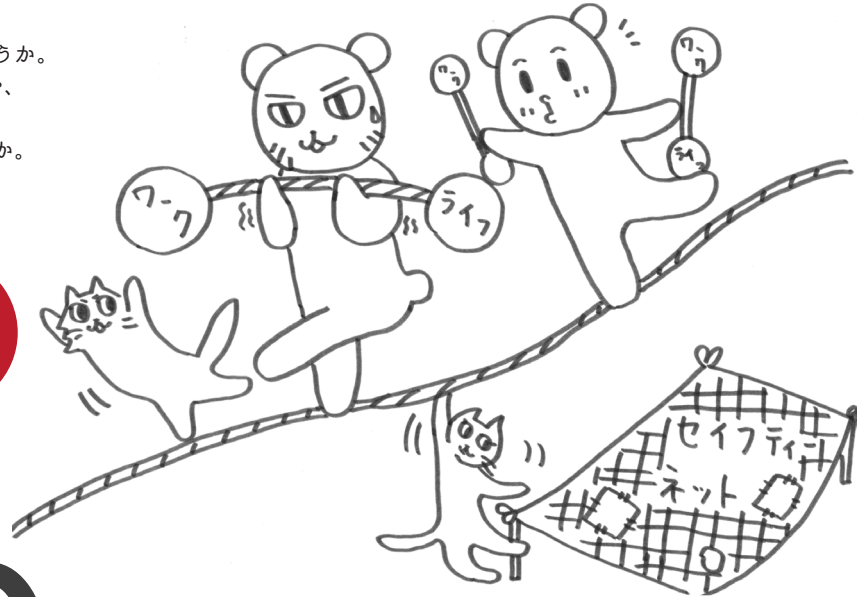


研究者のライフ・イベントと ワーク・ライフ・バランス

研究者はさまざまなライフ・イベントを経験するなかで、
実際にどのような困難に直面し、
それをいかに乗り越えてきたのでしょうか。
また、今後の研究と生活をめぐる環境や、
ワーク・ライフ・バランスの課題を、
どのように展望したらよいのでしょうか。
「研究」を人生と社会との関係で考え、
皆さんと議論します。

参加無料 一般公開

出入り
自由



日程

12.10 2017
| SUN |

🕒 10:00-16:00

会場

立命館大学
大阪いばらきキャンパス

メイン会場 ▶ 立命館いばらきフューチャープラザ カンファレンスホール

ポスターセッション会場 ▶ C棟2階C271ラーニングスタジオ

参加申込は不要です。ただし、情報保障・託児を希望される方は、11/27(月)までに以下のURLからお申込ください。E-mailまたはFAXでも受け付けます(①お名前 ②ご連絡先 ③参加される部(時間帯) ④希望される事項を明記ください)。



大会詳細・情報保障/託児お申込フォーム

<http://www.ritsumeihuman.com/news/read/id/234>
E-mail: ningen@st.ritsumeit.ac.jp
FAX: 075-465-8245

基調講演

「女性研究者とワーク・ライフ・バランス」

講師 仲 真紀子(立命館大学総合心理学部教授)

パネルディスカッション

「研究者とワーク・ライフ・バランスの今後」

主催・お問い合わせ先

立命館大学人間科学研究所 TEL:075-465-8358 FAX:075-465-8245 E-mail:ningen@st.ritsumeit.ac.jp

[特別協力] 立命館大学男女共同参画推進リサーチライフサポート室

[実施協力] 立命館大学生存学研究センター

立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構 第3期拠点形成型R-GIRO研究プログラム

「学融的な人間科学の構築と科学的根拠に基づく対人援助の再編成」

「修復的司法観による少子高齢化社会に寄り添う法・社会システムの再構築」

プログラム

10:00~10:10

開会挨拶

松原 洋子(立命館大学人間科学研究所所長/先端総合学術研究科教授)

10:10~12:00

第1部

基調講演

「女性研究者とワーク・ライフ・バランス」

講師 仲 真紀子

(立命館大学総合心理学部教授)

講演

「立命館大学の女性研究者支援の取組」

講師 田中 弘美

(立命館大学男女共同参画推進リサーチライフサポート室室長/情報理工学部教授)

12:15~13:45

第2部

ポスターセッション

会場 C棟 C271ラーニングスタジオ

※会場に軽食をご用意いたします。

※発表者・演題・抄録は事前に人間科学研究所HPに掲載いたします。

<http://www.ritsumeihuman.com/news/read/id/234>

14:00~15:50

第3部

パネルディスカッション

「研究者とワーク・ライフ・バランスの今後」

問題提起 筒井 淳也

(立命館大学産業社会学部教授)

パネリスト 筒井 淳也

仲 真紀子

朴 沙羅

(神戸大学大学院国際文化学研究科講師)

安田 裕子

(立命館大学総合心理学部准教授)

司 会 松原 洋子

15:50~16:00

閉会挨拶

松原 洋子

講師紹介



なか まきこ
仲 真紀子

北海道大学大学院文学研究科教授を経て2017年より立命館大学総合心理学部教授。専門は認知心理学、発達心理学、法と心理学。現在のテーマは司法面接。心理学関連の著書・業績多数のほか、『女性研究者とワークライフバランス』(新曜社)の編者でもある。



たなか ひろみ
田中 弘美

国際電気通信基礎技術研究所勤務を経て1994年より立命館大学理工学部教授、2004年より同情報理工学部教授。専門はコンピュータビジョン、バーチャルリアリティ。2016年より同大学に設置されたリサーチライフサポート室にて女性研究者支援の枠組み構築に尽力。



つつい じゅんや
筒井 淳也

2006年より立命館大学産業社会学部准教授(助教授)、2014年より同教授。専門は社会学(理論・計量分析)、家族社会学。近著に『結婚と家族のこれから:共働き社会の限界』(光文社)、『仕事と家族:日本はなぜ働きづらく、産みにくいのか』(中央公論新社)等。



はく さら
朴 沙羅

立命館大学国際関係学部准教授等を経て2016年10月より神戸大学大学院国際文化学研究科講師。専門は社会学、移民研究、エスニシティ/レイシズム研究。近著に『外国人をつくりだす:戦後日本における「密航」と入国管理制度の運用』(ナカニシヤ出版)等。



やすだ ゆうこ
安田 裕子

2014年より立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構准教授、2015年同文学部准教授を経て2016年より同総合心理学部准教授。専門は臨床心理学、生涯発達心理学、質的心理学。近著に『TEMでひろがる社会実装:ライフの充実を支援する』(誠信書房)等。



まつばら ようこ
松原 洋子

2002年より立命館大学産業社会学部教授、2003年より同大学院先端総合学術研究科教授(2012年より3年間、同研究科長)。2015年より人間科学研究所所長を兼任。専門は生命倫理学、科学技術史。同大学リサーチライフサポート室の委員でもある。



アクセス

立命館大学大阪いばらきキャンパス

- JR「茨木駅」下車、東口より 徒歩約5分
- 阪急電車「南茨木駅」下車、改札を出て左へ、高架沿いに 徒歩約10分
- 大阪モノレール「宇野辺駅」下車、徒歩約7分

主催・お問い合わせ先

立命館大学人間科学研究所

TEL:075-465-8358 FAX:075-465-8245 E-mail:ningen@st.ritsume.ac.jp

[特別協力]立命館大学男女共同参画推進リサーチライフサポート室

[実施協力]立命館大学生存学研究センター

立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構 第3期拠点形成型R-GIRO研究プログラム

「学融的な人間科学の構築と科学的根拠に基づく対人援助の再編成」

「修復的司法観による少子高齢化社会に寄り添う法・社会システムの再構築」

本シンポジウムは、科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の助成の一部を受けて実施するものです。

ご来場には公共交通機関をご利用ください

- ・専用駐車場がございませんので自転車・バイクでのご来場もご遠慮ください。
- ・キャンパス内は全面禁煙です。
- ・メイン会場の席数には限りがございます(139名)。